

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人ラーフ



## 令和5年度事業報告について

### I. 事業実績

総評：本年度は、これまでのウイルス感染の影響なく、事業活動を行うことができた。

まず、事業活動の中で、法人として的一大プロジェクトである一ノ谷拠点の新設について報告する。これまでの活動を振り返り、今後の事業展開と職員の働きやすさについて総合的に検討した結果、場所を移動し新設することに決定した。また、新設の為に補助金申請を行った。しかし、令和5年度の申請は承認されず、令和6年度に持ち越しとなった。改めて内容を詰めていく必要がある。

また、通常の実業活動について報告する。各事業所において、利用者数の増加と加算を取ることができ、事業所作りにも勤めた。その結果、介護部、やまもも、チームについては増加させることができたが、ウィズとリールについては、わずかに減少する結果であった。リールはこれに伴って、2024年2月にA型事業所から多機能型事業所に変更を行った。ウィズにおいても、新たな取り組みとして、助成金を取得し、生活困窮者に向けたおにぎりプロジェクトをスタートさせた。事業活動の一方で、介護部、ウィズ、リールで人財が不足している。事業活動や利用者の受入に影響が出ている為、早急に確保していく必要がある。

一方、物価の高騰による影響について報告する。電気代やガソリン代、食品等、様々な資材の経費が上昇している。その中で、電気代については、各部署において電気の節約に取り組んでいる為、大きな影響は見えなかった。しかしガソリン代については、車両の増加もあり経費が上昇した。食品の仕入れ経費も上昇している為、やまももやリールにおいて、商品の価格転嫁を行っているが、仕入値の上昇率に価格転嫁が追いつかず、厳しい実情である。

次に、本年度の決算について報告する。本年度は営業利益では440万円の赤字、経常利益では210万円の赤字決算であった。しかし、施設整備の積立はできなかった。収益面は、障がい福祉サービス等事業収益が300万円の増収、介護保険事業収益も170万円の増収だった。一方で、費用面が約1,000万円増加している。費用の中では特に人件費と事務費（内、広報費、事業委託費）が大きく増加している。事業費はやや削減、就労支援事業費用は約600万円の削減を行っている。

その他、今後も注視しなければいけない項目として次の2点である。

- ・労災事故が1件、交通事故が1件発生した。前者は労災保険適用となり、現在も療養中である。後者は車両保険の活用はなく、怪我人も発生しなかった。

- ・車両費、車両リース代電気代及び、燃料代は、全社的な節電の取り組みによって、概ね10%アップにとどまっている。

交通事故対策や経費削減の取り組みは、継続的に取り組んでいく必要がある。

最後に、本年度採択された補助金・助成金について記載する。補助金・助成金は、香川県医療・福祉施設応援金、観音寺市介護・障害等サービス事業者物価高騰対策支援金、木口福祉財団等5つの補助金・助成金合計2,801,517円であった。新しい事業を行うときや、新商品の開発の際には、補助金や助成金は大変有効なものである。社会福祉法人だからこそ、活用できるこの金銭的な支援を今後も有効活用して行きたい。

[事業展開(重点的取り組み)]

(1) 誰もが挑戦できる風土作りの為に、次の取り組みを行う。

- ① リカバリの方法を考える面談又はスーパービジョンを適時開催する。
- ② キャリアアップ支援制度の見直しを行い、法人がバックアップする体制を強化する。

報告：全体としては、以下の2つの具体的な取り組みを行った。これから各部署に浸透させていく段階となる。特に人材は今後も確保が難しい地域状況になってくる。その為、新卒採用も積極的に行い、法人内で人材が育ち、新しい取り組みに挑戦できるような風土を意識的に作っていく必要があると考えている。

- ①は、取り組みを行えた。各部署において必要な時に個別面談という形で取り組みができていく。令和6年度には香川県においても、スーパービジョンの研修会が開催されると聞いている。この研修を受けて、スーパーバイザーとしての能力向上にも取り組んでもらいたい。
- ②については、具体的な取り組みを行った。理事長、統括部長、事務長が中心となり会議で議論を行い、キャリアアップ制度の見直しを行った。各部署に届く研修会情報を集約し、各長に情報共有し、研修受講者を選定する仕組みを作った。令和6年度にはこの仕組みを運用していきたいと考えている。

(2) 人財レベルを強化の為に、次の取り組みを行う。

- ① スタッフが目標管理シートに書いた目標を達成できる為の取り組みを部署ごとに行う。
- ② 個人の等級で求める能力(就業規則第56条別紙に記載)を向上できる為の外部研修を積極的に取り入れる。主任以上の中間管理職は、年に2回以上外部研修を受講する。業務職は、年に1回以上外部研修を受講する。
- ③ 月1回の内部研修を定着させ、継続する。

報告：人財レベルの強化について、部署ごと中心に取り組みが行えている。ただ、人員が不足している部署において、内部研修会の開催や研修記録(資料)の作成・共有が滞っている状況である。

- ①については、各部署や個人の目標の達成(ほぼ達成も含む)が令和5年度は増加したことから、目標を意識して業務に従事できていたと考えられる。
- ②については、まだ十分な取り組みができていない。福祉分野における知識や制度や技術の研修には一部参加しているものの、役職における能力向上の研修には、ほとんど参加ができていない状況である。外部研修に出る為に、部署内の余裕をもった人員配置も必要である。
- ③については、ほとんどの部署で定着できている。ただ、業務が多忙な時期や人員が不足している場合は、開催できていない部署もある。

(3) 事業活動収入を2億円、純利益率7%を目指す為に、次の取り組みを行う。

- ① 加算の報酬をとれる事業所づくりを行う。
- ② 各障がい福祉サービス事業所の加算をリストアップしたものを念頭に置き、それに向けた取り組みを責任者会議で報告し、ラーフ全体でできる方法で獲得していく。
- ③ 就労支援で販売する商品を知り、部署間が連携して外部に広報活動を行う。内部売りから外部売りへのスタイルを変革させる。

報告：各事業活動収入は2億円を達成することができた。しかし、純利益はマイナス決算である為、達成できなかった。

- ① については、各部署で意識的に取り組みが行えている。
- ② については、報酬加算一覧表を作成した。定期的に責任者会で現状確認を行い、今後も報酬加算取得の取り組みを継続していく必要がある。ただし、取り組みは部署ごとであり、人員配置のこと等で部署を跨いだ取り組みには至らなかった。
- ③ 外部への販売スタイルを意識している。やまももでは他社と商品開発をスタートさせており、法人内では先駆的な取り組みを行えている。今後も、法人内の商品や作業労力を、販売活動や施設外就労を通じて外部へアピールしていく考えである。

## II. 管理施設

施設名	居宅訪問介護 事業所ラーフ	障がい福祉サービス 事業所 やまもも	支援センター ウィズ	リール	ビーム
定員		20名	20名	20名	20名
所在地	香川県観音寺市古川町97番地2		香川県観音寺 市栄町3丁目 5-3-2	香川県観音寺 市柞田町丙 1060-1	香川県観音寺市古川 町608番地1
土地	1172.04 m <sup>2</sup>		125.42 m <sup>2</sup>	1794.73 m <sup>2</sup>	680 m <sup>2</sup>
建物	14.90 m <sup>2</sup>	362.42 m <sup>2</sup>	45.26 m <sup>2</sup>	496.37 m <sup>2</sup>	210.41 m <sup>2</sup>

### Ⅲ. 法人運営

#### 1. 法人運営における理事会・評議員会

##### (1) 理事会の開催

###### ア 第一回理事会

令和5年6月6日(火) 13時30分～14時30分

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 議案第1号 | 令和4年度 事業報告書の承認について                 |
| 議案第2号 | 令和4年度 決算書の承認について                   |
| 議案第3号 | 令和5年度 監事監査報告書の承認について               |
| 議案第4号 | 生活介護事業、定員拡大検討について                  |
| 議案第5号 | 給与規定(美容師・調理師の資格手当とリフレッシュ手当見直し)について |
| 議案第6号 | 休職の特例対応について                        |
| 議案第7号 | 評議員会の開催日時及び役員改選の承認について             |

###### イ 第二回理事会

令和5年6月20日(火) 11時30分～11時50分

- |       |              |
|-------|--------------|
| 議案第1号 | 理事長の選任について   |
| 議案第2号 | 第三者委員の解任について |
| 議案第3号 | 第三者委員の選任について |

###### ウ 第三回理事会

令和5年10月12日(木) 10時00分～11時00分

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 議案第1号 | 理事長より報告            |
| 議案第2号 | 就業規則の変更について        |
| 議案第3号 | 旅費規程の変更について        |
| 議案第4号 | 柞田拠点運営事業の変更と追加について |
| 議案第5号 | 評議員会の開催日程の承認について   |

###### エ 第四回理事会

令和5年12月7日(木) 13時30分～14時00分

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 議案第1号 | 定款変更 柞田拠点事業追加について |
| 議案第2号 | 評議員会の開催日程の承認について  |

###### オ 第五回理事会

令和6年3月7日(木) 10時00分～11時00分

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 議案第1号 | 令和6年度事業計画書(案)について          |
| 議案第2号 | 令和6年度予算書(案)について            |
| 議案第3号 | 借入金について                    |
| 議案第4号 | 預金取り崩しについて                 |
| 議案第5号 | 就業規則及び登録ホームヘルパー就業規則の変更について |
| 議案第6号 | 経理規程の変更について                |
| 議案第7号 | 柞田拠点 施設長の就任について            |
| 議案第8号 | 評議委員会の開催日時の承認について          |

## (2) 評議員会の開催

### ア 第一回評議員会

令和5年6月20日(金) 10時00分～11時00分

- |        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 議案第1号  | 令和4年度 事業報告書の承認について                 |
| 議案第2号  | 令和4年度 決算書の承認について                   |
| 議案第3号  | 令和5年度 監事監査報告書の承認について               |
| 議案第4号  | 生活介護事業、定員拡大検討について                  |
| 議案第5号  | 給与規定（美容師・調理師の資格手当とリフレッシュ手当見直し）について |
| 議案第6号  | 休職の特例対応について                        |
| 議案第7号  | 理事 石川浩久の選任について                     |
| 議案第8号  | 理事 佐々木ゆかりの選任について                   |
| 議案第9号  | 理事 高石豪の選任について                      |
| 議案第10号 | 理事 田邊早矢加の選任について                    |
| 議案第11号 | 理事 毛利公一の選任について                     |
| 議案第12号 | 理事 山下聡子の選任について                     |
| 議案第13号 | 監事 氏家廣幸の選任について                     |
| 議案第14号 | 監事 園部信大の選任について                     |

### イ 第二回評議員会

令和5年11月2日(木) 18時30分～19時30分

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 議案第1号 | 理事長より報告            |
| 議案第2号 | 就業規則の変更について        |
| 議案第3号 | 柞田拠点運営事業の変更と追加について |
| 議案第4号 | 第三者委員の解任と選任について    |

### ウ 第三回評議員会

令和5年12月25日(月) 18時30分～19時00分

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 議案第1号 | 定款変更 柞田拠点事業追加について |
|-------|-------------------|

### エ 第四回評議員会

令和6年3月26日(火) 18時00分～19時00分

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 議案第1号 | 令和6年度事業計画書（案） について         |
| 議案第2号 | 令和6年度予算書（案） について           |
| 議案第3号 | 借入金について                    |
| 議案第4号 | 預金取り崩しについて                 |
| 議案第5号 | 就業規則及び登録ホームヘルパー就業規則の変更について |
| 議案第6号 | 経理規定の変更について                |

### (3) 責任者会議

固定議題（◆理事長より◆前月の収支・実績・利用者数報告◆活動について◆委員会からの報告◆クレーム・ヒヤリハット・問題点について）以外の議題を表にした。

日時	内容
4/11（火）	◆事業報告書について◆理事会提案議題について◆加算取得の件◆目標管理シートについて
5/11（木）	◆理事会提案議題について◆目標管理シート◆事業報告書について
6/13（火）	◆生活介護事業拡大に向けての状況◆加算取得に向けた取組の状況
7/13（木）	◆生活介護事業拡大について
8/17（木）	◆最低賃金について◆前期個別面談について◆第2回理事会議題について
9/19（火）	◆理事会提案議題について◆最低賃金について
10/19（木）	◆各部署の加算状況◆研修手当について
11/14（火）	◆広報活動について（広報費・協賛広告）
12/19（火）	◆旅費・経理規程、就業規則について◆一ノ谷拠点建物について
1/18（木）	◆令和6年度事業計画書について◆令和6年度予算書について◆理事会提案議題について
2/20（火）	◆個人面談について◆理事会提案議題について◆研修システムについて
3/14（木）	◆R6年度法人内交流について◆「介護職員処遇改善補助金」「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」について

### (4) 研修委員会の開催

ア 委員会 7/28 9/29 10/24 12/12 各回 11:00～12:00

委員長 高石（リール）

委員 今井（介護部）、林（やまもも）、佐々木（ウィズ）、大西（リール）、横澤（ビーム）、石川（事務）

イ 管理職研修 2/1 18:00 ～ 19:00

主題：「ソーシャルアドミニストレーション（福祉運営管理）」

担当：柞田拠点施設長補佐 高石豪氏

ウ 全体研修 3/10 ①10:00 ～ 11:00 ② 11:00 ～ 12:00

①「虐待防止」講師：ウィズ拠点非常勤 職員 尾崎俊二氏

### ③ 4グループに分かれてのグループワークと各グループ発表

### (5) レクリエーション委員会の開催

ア 委員会 令和5年7月上旬より、委員全員がメールで意見交換を行った。内容は「忘年会の開催または代替案」についてであった。

イ 忘年会 新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたものの、まだ全部署より心配の声が上がったため全体での忘年会は中止し、部署ごとに小規模の食事会か、物品購入、ラ



ーフ内で使える商品券かを選んだ。食事会に参加できなかった職員にも商品券を配布し、全職員が何らかの形で参加することができた。

#### (6) 虐待防止委員会の開催

委員会 4/28 3/27

委員長 石川（やまもも）

委員 山下（介護部）佐々木（ウィズ）大西（リール）田邊（ビーム）石川（事務）

主な取り組み 啓発活用 擁護者または利用者へ向けパンフレット配布

職員へチェックリストの実施（2月）

虐待防止研修（研修委員会での実施）（3月）

#### (7) 広報・啓発

ア ラーフ通信の発行

毎月発行し、介護部・やまもも・ウィズ・リール・ビームの情報を発信した。

イ ホームページ、ブログ、SNS の運用

- ・ ホームページ更新は事務部で行い、ラーフ通信の掲載をした。
- ・ ブログは、ウィズが（ウィズのブログ）活動報告や活動予定を発信している。
- ・ フェイスブックは、やまもも及びリール各自運用。やまももは作業の様子・販売情報を、リールはレストランメニュー、キャンペーンやイベント案内を発信した。
- ・ インスタグラムは、フェイスブックと連携させ、ウィズ及びリールが各自発信している。
- ・ LINE はリールが運用。リールについての案内を始め、おすすめメニューや美容室のキャンペーン情報を発信。インスタグラムとの連動を行うなど変更した。

#### (8) 苦情

件数、内容、解決結果

件数	内容	解決結果
1	昨年度からの近隣住民との騒音等の苦情	可能な限りの対策を行ったが、解決に至らず。現状平行線のまま。 残業していると帰宅する時間で無いのかと。事務所へ来る。
1	別の利用者様から体を触られた	利用日を分散し、同日にならないように対応
1	衣類の脱水が不十分で鞆に水分が漏れた。	しっかり脱水と水分が漏れないように袋を締める対応を指導。その後、苦情はない
1	他事業所より利用者様の身だしなみ指摘	当日職員が気づかなかったこともあるが、便失禁感知センサーの導入検討。
1	商品賞味期限切れについての苦情	購入後に問い合わせ。謝罪、経緯の説明と返金の相談をしたが、今後気を付けてもらいたいとのこと。期限の確認の徹底を再周知。

(9) 法人事務スタッフ会議・研修

ア 事務部所内会議 時間は毎月 12:30~13:30

日	出席者	内容
4/26	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆決算確認事項周知
5/24	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆リフレッシュ手当の活用
6/28	石川・滝口・合川・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆インボイス制度
7/26	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆資格手当について
8/24	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項◆次年度、返礼品検討
9/27	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項◆返礼品検討
10/26	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆連絡事項◆年末調整準備
11/15	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆SMILE レポート◆業務改善点◆インフルエンザワクチン受診について◆ウィズワッフルについて
12/28	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆業務改善点
2/22	石川・滝口・毛利・合川・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定
3/22	石川・滝口・毛利・合川・北谷	◆全体予定◆部署予定◆個人予定◆クレームヒヤリハット・問題点◆業務改善点◆連絡事項

イ 事務部所内研修

日時	出席者	内容
4/13	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	Freee 会計 決算に向けて

5/10	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	監事監査準備について
6/28	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷	障がい者雇用について
7/12	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	Teams と Forms の活用（ワーク）
8/9	石川・滝口・毛利・合川・小西・北谷・酒井	就業規則について（6月評議委員会で変更した点）
11/10	石川・滝口・毛利・合川・北谷・酒井	今年度 年末調整
2/21	石川・滝口・毛利・合川・北谷	労働雇用契約書明示事項の変更について

※多忙期と重なり、また他部署での作業と重なり開催ができない月が発生。

報告者：事務長 石川留美

#### IV. 社会福祉事業各部署における事業実績

##### 1. 居宅訪問介護部ラーフ

###### (1) 利用状況

###### ア 居宅訪問介護（介護保健・総合事業）

利用人員： 35人 月平均利用者 33名

対象者：介護保険要介護者 要支援者

内容：要介護者・要支援者（総合事業）が自宅で日常生活を営むことができるように援助する。入浴、排せつ等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助を訪問介護計画に従い、サービスを提供する。事業の実施にあたっては、関係市、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めた。尚、新型コロナウイルス5類に移行後も感染対策を常に実施、感染防止に努めた。スマホアプリを使用しヘルパー活動記録票を入力するようになり、業務の効率化がはかれた。

###### イ 障がい者の居宅訪問介護（支援費・移動）

利用人員： 58人（移動のみ10人） 月平均利用者 55名

対象者：障害福祉サービス受給者証・地域生活自立支援事業受給者証交付者

内容：障がいを持つ利用者様が居宅において、日常生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及びそのおかれている環境に応じて、入浴・排泄等の身体介護・調理・掃除等の家事援助、外出における移動支援、生活等に関する助言・相談を行う。支援員と連携をとり、居宅訪問介護に従ったサービスを提供する。尚、新型コロナウイルス5類に移行後も感染対策を常に実施、感染防止に努めた。セールスフォース社の訪問介護ソフトを導入。スマホアプリを使用してヘルパー活動記録票を入力するようになり、業務の効率化がはかれた。

###### ウ 目標について

Salesforceの記録入力、ほとんどのヘルパーが使いこなせている。今後、情報共有の手段として、活用をしていきたい。

昨年度の新規顧客の傾向として、介護保険は総合事業、障がいサービスは家事援助の依頼が多い。件数の割には、単価が低いので、売り上げは伸び悩んでいる。

実数働けるヘルパーの人数が少ない、若年のヘルパーが増えたが、土日、祭日、早朝夜間は人材不足が問題である。

新型コロナの5類以降後も新型コロナ感染、インフルエンザ感染があり、今後もマスク着用、消毒、体温チェック等、感染予防を続けていく。

(2) 部所内会議・部所内研修

ア 部所内会議

昨年に引き続き、LINE を利用してリモート会議を行った。Wワークのヘルパーがいるため、参加人数が少ない。

月	議題
4月27日	利用者様の報告・活動の確認
5月25日	
6月22日	
7月27日	
9月28日	
10月26日	
12月27日	
2月21日	

3月29日

イ 部所内研修

月	議題	担当者
4月	セールスフォースの使用法	山下
5月	接遇・法令順守	今井
6月	身体拘束	横澤
7月	脱水・熱中症対策	山下
8月	倫理	今井
9月	緊急時対応	横澤
10月	認知症	山下
11月	感染症対策	今井
12月	虐待防止	横澤
1月	冬の健康管理	山下
2月	事故再発防止	今井
3月	プライバシー保護	横澤

報告者：居宅訪問介護部 管理者 山下聡子

## 2. 障がい者福祉サービス事業所やまもも

### (1) 利用状況

定員 20名 利用登録者数 25名 (令和5年3月31日現在)

(1日平均 17.8人:延開所日数 5,277日/開所日 286日)

開所日:月~金、第2第4土曜日(9:00~16:00)

※作業、販売などでの開所日追加変更有り

対象者:知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行された者

### (2) 事業実施の展開

ア 平均工賃23,000円台を目指し、利用者の自立生活の充実に繋げる

平均工賃の計上方法が変わり平均工賃は月額で33,098円となり大幅な増額を達成できた。年間売り上げも初めて1,100万円を超えることができ、利用者への還元額も向上し各利用者等より喜びの声をいただくことができた。ただ、イベント参加などで増えた開所日の利用人数が少なかったこと、材料費の高騰で商品価格を上げたことも大幅な工賃アップの要因であり、今年度の工賃目標は立てづらくなっているのが現状である。当初の目標であった売り上げよりも150万円超のアップであり、利用者様の地域生活レベルの向上の一役はになえたのではないかと考えている。

イ 利用登録者数25名以上(平均利用者数22名程度)の魅力ある事業所づくりの継続  
2名の一般就職者が出たことはとても喜ばしいことで、登録者も25名をキープできている。(ア)で報告したようにイベント時の利用人数は3~7名が多く、平均利用者数は大きな伸びは期待できない。利用時間外でのトラブルや不調により休みが増えたり他の福祉機関の利用で利用日数が増えない利用者も複数名おり、新規利用者を次年度は2~3名通所してもらえるように情報収集を行いたい。

ウ 個別支援の充実と専門性のある支援力を持った職員育成

サービス管理責任者実践研修受講者を1名、OJT機関の職員を1名育成できている。実務経験が必要な受講要件であり、これから新人職員の育成などでも活躍してもらえるようにより一層のOJTを繰り返しと積み上げを行っていく。内部研修で繰り返し必要な知識を積み上げることができた。実際の支援現場で活かせる能力を養えるように指導を継続していこうと考えている。

各作業部署でここに利用者が相談している、話しかけられている場面を何度も見る事ができた。サービス管理責任者以外でも利用者への的確な情報提供ができ、相談される信頼感を得られてきていることを実感した。作業や支援の現場で利用者に対して温かみを持った接し方をすることで信用と信頼が生まれてきていることを実感できた。

### (3) 主催するイベント

お花見(4月4日)

利用者バーベキュー（7月22日）

地域交流もちつき（12月28日）

初詣（1月4日）

（4） 部署内部研修

月日	内容	その他（担当職員等）
4月17日	虐待防止	石川
5月15日	活き活きた職場づくり（ハラスメント）	石川
6月19日	感染症予防	長野
7月17日	強度行動障害	渡辺
8月21日	意思決定支援	林
9月18日	リフレイミング	渡辺
10月23日	身体拘束	石川
11月20日	ストレスケア	大喜多
12月18日	虐待防止、身体拘束適正化	石川
1月22日	発達障害の理解	林
2月19日	個別支援計画作成	長野
3月18日	ストレングスを活かした支援	石川

※9月3日 防災研修・避難訓練

（5） 会議

職員会

日時	内容
4月3日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
5月1日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
6月5日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
7月3日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
8月3日（木）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
9月4日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
10月2日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
11月1日（水）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
12月1日（金）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
1月4日（木）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
2月2日（木）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他
3月4日（月）	周知事項の確認、報告・検討、利用者支援についての確認・報告、その他

報告者：障がい福祉サービス事業所やまもも 施設長 石川浩久

### 3. 支援センターウィズ

支援センターウィズでは、令和5年度の事業実施の方針として、

- ① 1日平均10人以上の達成と継続を行う。
- ② 人財育成の強化に努める。
- ③ 利用者様にSSTと研修会を活動に取り入れる。

に重点を置き取り組んだ。

#### (1) 事業方針に対する事業報告

- ① 今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、制限を解除し、自由に利用していただけようにした。1日平均10名の達成を目標とし、他機関と連絡を取り合い、新規の利用者獲得を目指した。また、来られていない利用者様に、安否確認を兼ねて電話などで連絡を取り、来所を促した。新規相談者5名のうち契約者は2名あり、何度か利用していただいたが、継続利用にはつながらなかった。今年度も困りごとや悩みがあるが、体調不良、交通手段がないため来所困難な利用者様等からの電話相談や、おしゃべりがしたい方からの電話が相当数あり、「安心して話せる場所」が求められていると感じた。

各月の平均利用者数については下記利用者数月別集計の表に記載する。

- ② 人財育成のため、年2回以上研修会に参加することを目標としてきたが、全員が達成することはできなかった。人員不足や、家庭の事情により、時間が取れないなか、毎月の内部研修は必ず実施し、スキルアップを目指した。
- ③ 無職の状態での利用が長期になると、社会性が損なわれていくように感じられるため、活動を通して社会性を取り戻し、希望者には就労への準備に取り組んだ。堅苦しくせずに、気軽に参加してもらえるように「SST」という言葉は使わず、「みんなの会」や「しあわせ心理学」として、毎月2回以上日常生活のスキルを学ぶ機会を作った。また、障害者就業・生活支援センターつばさとは特に連絡を取り合い、2名の利用者様が就職セミナーなどに参加し、次のステップへの意識づけにつながった。

#### (2) 利用状況

登録者 60名 利用開始者 2名 契約解除者 0名

##### ア 利用者数月別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録人数	59	59	60	60	60	60
月述べ人数	112	111	121	121	115	107
1日平均利用者数	5.60	5.55	5.76	6.05	5.48	5.35

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	60	60	60	60	60	60
月述べ人数	116	96	104	102	110	104
1日平均利用者数	5.52	4.80	4.95	5.37	5.79	5.20



イ 利用者数地域別集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観音寺市	64	60	65	67	65	66
三豊市	48	51	56	54	50	41
合計	112	111	121	121	115	107

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観音寺市	68	51	54	54	56	57	727
三豊市	48	45	50	48	54	47	592
合計	116	96	104	102	110	104	1319

登録者数 観音寺市 38 名  
三豊市 22 名

計 60 名

ウ 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来所	2	0	1	0	0	0
電話	15	12	11	5	14	9
合計	17	12	12	5	14	9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	1	0	1	0	0	0	5
電話	8	9	12	6	11	14	126
合計	9	9	13	6	11	14	131

(3) 支援内容

ア 創作活動

対象者 : 興味がある利用者様、就職を希望する利用者様等

内容 : ワッフル、おにぎり弁当、乾燥野菜、雑貨などの製作・販売、パソコンを使っの編集、内職(外部委託3種)など

状況 : ワッフルに関しては、1~2名の利用者が製造に参加していたが、原材料費高騰や、人員の不足により店頭での販売を9月末で中止し、イベント参加と期間限定販売のみにした。そのかわり、貧困、一人暮らしの利用者様などに対し、安価なおにぎり弁当を作って販売する事業を1月より開始した。利用者様の作業として生活スキルの向上に役立てているほか、食品ロス対策にもなっている。内職には主に3名参加。折り紙と箱の作成。参加者は責任感を持って取り組んでいる。

参加した利用者様には工賃を支払っている。

## イ レクリエーション活動

対象者 : 興味がある利用者様

内容 : コミュニケーション会、しあわせ心理学、カラオケ、外食、みんなの会、ゲーム大会、しゃべり場、お茶会、ラーフ通信作成、調理、モウリの部屋など

状況 : 2~3名から、多い時は5~6名が参加。モウリの部屋、みんなの会、しあわせ心理学では、おしゃべりを通してSSTにつながるよう工夫し、コミュニケーション力アップを目指して取り組んだ。飲食に関しては、感染予防に気を付けながら開催した。カラオケは、カラオケボックスに出かけるか、施設内でマスク着用、換気しながら開催し、ストレス発散している。

## (4) 会議・研修

### ア 部所内会議

日 時	内 容
4/25 16:00~17:00	現状報告、予定確認、スマイルレポート、令和5年度事業計画について その他
5/23 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート 講演会について、その他
6/22 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、共同募金イベントについて、その他
7/25 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、ふれあい夜市について、その他
8/22 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、研修報告、スマイルレポート、その他
9/26 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、改修工事について、その他
10/24 16:00~17:00	現状報告、予定確認、スマイルレポート、イベント参加について、その他
11/28 16:00~17:00	現状報告、予定確認、クレーム、ヒヤリハット報告、スマイルレポート、おにぎりの日について、その他
12/26 16:00~17:00	現状報告、予定確認、研修報告、ヒヤリハット、スマイルレポート、研修報告、おにぎりの日について、その他
1/23 16:00~17:00	現状報告、研修報告、予定確認、ヒヤリハット、スマイルレポート、その他
2/27 16:00~17:00	現状報告、研修報告、予定確認、ヒヤリハット、スマイルレポート、その他
3/26 16:00~17:00	現状報告、予定確認、ヒヤリハット、スマイルレポート、イベント参加について、その他

イ 部所内研修

日 時	内 容
4月13日 16:00~17:00	ウィズを取り巻く環境、社会資源について 23年度版
5月11日 16:00~17:00	権利擁護について
6月13日 16:00~17:00	感染症、食品衛生
7月13日 16:00~17:00	相談援助（事例検討）
8月10日 16:00~17:00	精神疾患についての理解（事例検討）
9月14日 16:00~17:00	防災対策について、避難訓練 家具の転倒防止器具等のチェック
10月12日 16:00~17:00	成年後見制度について
11月9日 16:00~17:00	ひきこもりについての理解
12月14日 16:00~17:00	発達障害についての理解（事例検討）
1月11日 16:00~17:00	相談援助（スーパービジョン）
2月22日 16:00~17:00	虐待防止・差別解消法
3月14日 16:00~17:00	職場のストレスケア

ウ 保護者会(個別面談会)

日 時 令和 6年 3月 23日（土） 13:00~16:00

参加者 3名

家庭や職場での様子や、センターでの様子、今後の事など、気になっている事を個別に話し合い、支援の方向性を確認した。

エ 観音寺市発達障がい等支援連携会議

日 時	会議名	参加者	内 容
6月8日	代表者会議	佐々木	令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画 臨床心理士相談事業報告

6月8日	実務者会議	佐々木	令和4年度事業実績及び令和5年度事業計画など
9月7日	実務者会議	幸木	通級指導教室について、事例検討
2月1日	実務者会議	幸木	令和5年度実績報告、次年度事業の検討、事例検討

オ 三豊市発達障害等支援連携会議

日時	会議名	参加者	内容
5月23日	代表者会議	佐々木	令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画、三豊市発達障害者・児支援の取り組みについて（報告）
10月13日	実務者会議	都合により不参加	三豊市の現状と各課の取り組み（報告） 情報交換
1月31日	実務者会議	都合により不参加	令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画（案） 意見交換

(5) 主催イベント

ア ハナミズキの会

日時	内容
5月27日（土） 10:00～11:30	4名参加。近況報告や参加者同士でアドバイスなど。 リーフレットなどを配布。
8月26日（土） 10:00～11:30	5名参加。顔見知りの方ばかりだったのでおしゃべり会。
11月25日（土） 10:00～11:30	参加者なし。
2月24日（土） 11:30～13:00	3名 ランチミーティング 今年の振り返り、報告など。リーフレットなど配布。

イ 講演会

日時 令和5年9月2日（土）14:00～15:30  
 場所 リール・オンラインハイブリッド開催（Microsoft Teams）  
 講師 日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントファシリテーター  
 町田 仁美 氏  
 内容 主に発達障がいの特徴を持つ子を育てる保護者等を対象とした、怒りの感情のコント

ロール、上手なしかり方を学ぶ講演会、社会資源の広報、啓発  
参加者 18 名

#### ウ 海浜清掃

- ① 日 時 令和 5 年 7 月 24 日 (月) 13:30～15:00 ファミリーキャンプ場  
参加者 利用者様 4 名
- ② 日 時 令和 6 年 3 月 11 日 (土) 13:30～15:00 有明海水浴場  
参加者 利用者様 4 名

#### エ 遠 足

日 程 令和 5 年 10 月 23 日 (月) 児島ジーンズストリート 5 名参加

#### (6) 広報活動

チラシを配布したり、ブログ、インスタグラムなどを活用し、ウィズの活動や、地域の研修会、講演会、相談会などについて週 3 回以上情報発信に努めた。

#### ◇ひきこもり支援（香川县委託事業）

令和 5 年度の事業実施の方針

ひきこもりの状態にある方や、生きづらさを抱える方が安心して交流できる居場所につながり、そこで人との関係づくりや社会参加につながる体験をしながら自信の回復やセルフケア能力の向上を図り、社会参加を促進していくことを目的とする。

#### (1) 利用状況

居場所利用 1 名 (8 回)  
家庭訪問 1 件 (11 回)  
相談受付 8 件 (電話含む)

#### (2) 支援内容

居場所開設 毎月第 1、第 3 火曜日 16:00～18:00  
相談受付・家庭訪問 毎月第 1、第 3 水曜日 13:30～16:30

ひきこもり UX 会議、三豊市マーガレットの会、カウンセリング技法研修会、オンライン居場所、意見交換会などに参加。

報告者：支援センターウィズ施設長 佐々木ゆかり

#### 4. リール

総評：令和5年度は、A型事業所をA型とB型の多機能型事業所に指定変更を行う大きな事業の変換を行った。この事業の準備の為、9月頃から事務的な申請書類の準備と、カルチャースクール終了に向けた挨拶回り、場所や作業の準備等、非常に多忙な年度であった。変更申請は無事に終了し、2月からB型事業を始めることができた。

就労継続支援A型事業では、利用者を2人一般就労に繋げることができた。加えて、令和6年度の一般就労に向けて2人が外部の就職説明会や面接会に参加した。一方で、体調を崩した利用者が4人いた。そのうち2人は、外部支援者（事業所）複数とチームを組んで支援に当たったが結果的に退職した。あとの2人は3ヶ月程の治療・療養期間を用いた。この影響で、7月以後約50万円の訓練等給付費の減少もあった。2月から定員がこれまで20人だったところ10人となり、年度末時点での定員は10人である。

就労継続支援B型事業では、2月1日から1人の利用者からスタートした。作業内容は、内職作業（釣りの道具の仕分け作業）、パソコン入力作業、レンタルアート営業作業、施設外就労である。本事業における職員が不足している為、今後早急に常勤1名を配置する必要がある。

短期入所では、職員の変更があったものの、利用者は徐々に増え、年度末時点で57人（前年度末+8名）となっている。

財務面では、A型事業の利用者の減少に寄って、障がい福祉サービス等事業収益が900万円程減少した。就労支援会計においても、収入が100万円程減少した。一方で、活動支出は600万円程削減できた。結果的に900万円程の赤字である。今後はまずB型事業の利用者確保と職員の増員を行い、令和6年度中に黒字化を目指していく。

続いて、各方針について振り返る。

- ①一般就労ができるA型利用者を輩出する支援体制の構築
- ②就労支援会計の黒字化
- ③風通しが良いショートステイ

①については、達成することができた。一般就労に向けた個別面談と研修会を毎月行った。個別面談では、リールでの作業内容や、一般就労に向けての疑問や不安に対して話を傾聴し、業務内容の調整や情報提供を行った。研修会では、時間を30分間と短時間とし、働くための基礎知識（会社理念や働くこと等）と、ビジネスマナーについて一緒に学んだ。その結果、2名を一般就労に繋げることができた。繋いだ後も、2ヶ月に一度程アフターフォローの面談行っている。

②については、達成出来ていない。物価高騰の影響で仕入値が上がることに對し、仕入れ商品の整理を行うと共に価格も引き上げたが、黒字化までは至らなかった。しかし、純利益のマイナスを半減させることができた。

③については、達成することができた。施設内の扉を基本的に開いておくことで、就労支援事業の職員も短期入所事業の利用者様と交流する機会が増加した。

(1) 利用状況

ア 就労継続支援 A 型

定員 10 名 利用登録者数 10 名 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延利用者数	255	241	234	188	187	194	178	172	180	155	159	198	2341
開所日数	21	22	22	21	23	22	20	22	21	20	21	22	257
平均利用者数	12.2	11	10.7	9	8.2	8.9	8.9	7.9	8.6	7.8	7.6	9	9.2

開所日：毎週火～土曜日（12 月 30 日～1 月 3 日を除く）

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行されたもの

イ 就労継続支援 B 型

定員 10 名 利用登録者数 1 名 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延利用者数											19	22	41
開所日数											21	22	43
平均利用者数											1	1	1

ウ 短期入所

利用登録者数 57 名 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延利用人数 (a)	69	63	64	59	59	59	62	68	69	61	69	71	773
開所日 (b)	22	21	20	20	21	20	20	20	20	20	21	23	248
1 日あたりの 平均利用人数 (a) ÷ (b)	3.14	3.00	3.20	2.95	2.81	2.95	3.10	3.40	3.45	3.05	3.29	3.09	3.12

開所日：248 日

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて介護給付受給者証を発行されたもの

## (2) 労支援状況

### ア レストラン

令和5年度の売上は5,166,719円（前年度比62%）だった。

売上げが大きく減少した原因は、弁当販売を7月からやめたことである。弁当をやめることで、時間に余裕が出来、メニューを刷新することが出来た。また、料金も物価の上昇に伴って見直しをし、8%ほど上昇させた。一方で、原材料費が大きく削減でき、純利益は増加した。

2月からは、次年度のアートレストランとしてのリニューアルに向けて、アートとのコラボメニューについて考案した。

### イ 美容室

令和5年度の売上は4,121,732円（前年度比108%）だった。

令和5年度は、障がいがある方の利用者を増加させる取り組みを中心に広報活動を行った。その結果、障がいがある方が観音寺市外から来店してくれるようになった。来店者数が増加し、来店サイクルが短縮していることから、常連客の利用頻度が増加していると考えられ、その結果売り上げも増加した。

美容室の作業でも、利用者2人が安定して業務を行えており、スムーズな営業に繋がっていると考えられる。

来店者数	767人	11%増
新規来店者数	76人	5%減
平均来店サイクル日数（再来店）	74日	1日短縮

### ウ 産直

令和5年度の売上は294,451円（前年度比129%）だった。

産直棚を増設し、商品数を増加させた。野菜と地元の食品だけでなく、地元アーティストの手作り小物も販売し始めた。

お中元とお歳暮時期には、2種類のセット商品を販売した。オンラインでも注文が出来る様に、マイクロソフトフォームスでシステムを構築した。商品作りで利用者様がもう少し関わることが出来ればよかった。

### エ カルチャースクール/レンタルスペース

令和5年度の売上は265,836円（前年度比122%）だった。

固定客のリピートのおかげで、売上げを伸ばすことが出来た。利用時は、レストランのランチも利用してくれるため、相乗効果もあった。場所の清掃や整備など、ほとんどの運営を利用者様が受け持っている。1月から次年度のB型事業所開設に向けて、カルチャースクールを12月末に終了すると共に、レンタルスペースの時間と広さと料金を刷新した。

### オ 清掃委託作業

令和5年度の売上は178,729円265,044（前年度比49%）だった。



観音寺市から清掃作業を受託し、支援員1名と利用者3名で、大谷やすらぎの里公園清掃を行った。作業では、利用者がトイレ清掃・トイレ周辺の除草作業（観音寺市）を月に3回、1回あたり2時間の作業を安定して行えている。

年度中旬からは、ドラッグストア mac 観音寺店と観音寺中央店の品出し作業を受注して、支援員1名と利用者1名が、1週間に3回程度の作業を行っている。慣れない場所で接客を行うことでストレスがたまった場合は、随時振り返りの面談を行っている。また、行き帰りの車の中でも振り返りを行いながら、早期の定着に向けて支援員が利用者に寄り添いながら、作業に取り組むことができた。この施設外就労から、一般就職への道が見えて来ている。

### (3) 会議・研修

ア 部所内会議（A型事業所会議：A型、短期入所事業所会議：SSと表記）

日時	内容
SS 4月13日 A型 4月11日	月初の登録利用者数と利用相談(A型.ショートステイ) 周知事項 協議事項(利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策,委員会より、その他
SS 5月18日 A型 5月24日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項, 協議事項(利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策,委員会より、その他
SS 6月22日 A型 6月20日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項,委員会より、その他
SS 7月20日 A型 7月19日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項,委員会より、その他
SS 8月16日 A型 8月8日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項 協議事項, (利用者様の変化について、月の問題点・ヒヤリハットと解決策)周知事項, 委員会より、その他
SS 9月28日 A型 9月19日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策) 周知事項, 委員会より、その他
SS 10月20日 A型 10月24日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 周知事項 協議事項, (利用者様の変化について、月の問題点・ヒヤリハットと解決策)周知事項, 委員会より、その他
SS 11月17日 A型 11月28日	月初の登録利用者数と利用相談 (A型.ショートステイ), 協議事項 (利用者様の変化について、今月の問題点・ヒヤリハットと解決策, 周知事項, 委員会より、その他

SS 12月21日 A型 12月20日	月初の登録利用者数と利用相談（A型・ショートステイ），協議事項（利用者様の変化について，今月の問題点・ヒヤリハットと解決策，周知事項，委員会より，その他
SS 1月25日 A型 1月30日	月初の登録利用者数と利用相談（A型・ショートステイ），協議事項（利用者様の変化について，今月の問題点・ヒヤリハットと解決策，周知事項，委員会より，その他
SS 2月29日 A型 2月27日	月初の登録利用者数と利用相談（A型B型・ショートステイ），協議事項（利用者様の変化について，今月の問題点・ヒヤリハットと解決策，周知事項，委員会より，その他
SS 3月28日 A型 3月26日	月初の登録利用者数と利用相談（A型B型・ショートステイ），協議事項（利用者様の変化について，今月の問題点・ヒヤリハットと解決策，周知事項，委員会より，その他

#### イ 部署内研修

日 時	内 容
4月13日	専門職の共通基盤（我々の共通の基盤は何か）
5月18日	ソーシャルワークとは
6月15日	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義
7月20日	専門職の視点一分節化と再構造化（我々はどう見るのか）
8月16日	虐待事例検討会/身体拘束について事例検討
9月28日	避難訓練・防災研修
10月28日	支援の構成要素
11月17日	障害がある方の性
12月21日	障害者虐待防止について(事例検討)/身体拘束について（3原則）
1月25日	支援の構成要素
2月29日	事例検討
3月28日	ソーシャルワーカーの失敗

#### (4) 主催イベント

ア 親子アート(リール2階レンタルスペース)

開催日：2022年12月10日～、毎月第3土曜日 10時～12時

参加者：6 家族

参加費：7,000 円(1,000 円/回×7 回シリーズ)

イ 防災イベント

(5) その他

一般就労に向けた取り組み

ア 一般就労希望者向け個別面談

開催日：毎月第 2 土曜日

対象者：一般就労を目指す人、将来的に目指したい人、興味がある人

参加者：全員

イ 利用者様研修会

開催日：毎月最終火曜日

対象者：利用者全員(2 つのグループに分かれて実施)

内容：ビジネスマナー(香川県中小企業家同友会制作の教本より)、 SST

報告者：リール施設長 毛利公一

## 5. ビーム

### 【就労継続支援 B 型】【生活介護】

#### (1) 利用状況

##### ア 就労継続支援 B 型（令和 2 年 12 月 1 日開所）

定員 14 名 利用登録者数 13 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（1 日平均 13 人：延開所日数 3210 / 開所日数 247 日）

開所日：月～金（9：00～16：00） ※作業などでの開所日変更有

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて訓練等給付受給者証を発行されたもの

##### イ 生活介護（令和 4 年 3 月 31 日開所）

定員 6 名 利用登録者数 11 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（1 日平均 4.9 人：延開所日数 1192 / 開所日数 245 日）

開所日：月曜日～金曜日（9：00～16：00）

対象者：知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者、その他必要に応じて介護給付受給者証を発行されたもの

#### (2) 支援内容

##### 【就労継続支援 B 型】

内容：（農作業）個人農家やセルプの委託作業

作業内容は、大蒜、玉葱の定植、収穫、除草など

（内職）内職業者（有限会社サンリツ）の下請け作業

##### 【生活介護】

内容：生産活動、音楽活動、OT によるリハビリ（火、金）

##### ア 生活介護利用者利用率向上

現在利用者登録は 11 名で、登録数は増え、利用率も増えてきている。定員以上の利用が今後見込まれるため、定員の変更などを考えていく。また、サービスの質の向上を行っていく。

##### イ 利用者の工賃向上

現在平均工賃 26,000 円で農作業、軽作業共に収入が増えてきている。利用者も様々な作業に参加することができているが、特定の作業しか取り組めない方もおり、補助具や支援の方法を変えて、作業の幅を広げて、工賃向上につなげていけるようにする。

今後も、維持できるようにしていく。

##### ウ 個別支援計画の充実

生活介護の利用者と就労継続 B 型の利用者のニーズは異なり、個々に合った支援が必要となっており、直接処遇職員は、個々の能力に合わせた支援をする能力が必要となってくる。

新規利用者が増えてきたこともあって、個別支援計画の重要性が増している。細かなチェックと変化への対応を今後も進めていく。

### (3) 会議・研修

#### ア 部所内会議

日 時	内 容
4/12	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
5/25	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
6/23	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
7/20	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
8/24	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
9/28	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
11/28	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
12/14	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
2/6	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告
3/22	周知事項の確認、報告、検討、利用者支援についての確認、報告

#### イ 部所内研修

日 時	内 容
4/12	個別支援
5/25	ダウン症について
6/23	虐待・身体拘束
7/20	避難訓練
8/24	介護におけるコミュニケーション
9/28	事故防止マニュアルの見直しと把握
11/28	感染症
12/14.19	虐待防止・身体拘束
2/6	差別解消法

3/22 避難訓練・防災マニュアルの見直しと把握

#### (4) 主催イベント

もちつき・忘年会

初詣

花見

報告者：ビーム施設長 田邊早矢加

V. 職員数と採用・退職状況（理事長は常勤に含む）

(1) 令和5年4月1日 現在 職員数

常勤職員 21 名

非常勤職員 50 名

(2) 年度内の採用と退職

< 採用 >

常勤職員 8 名

非常勤職員 5 名

< 退職 >

常勤職員 2 名

非常勤職員 10 名

(3) 令和6年3月31日 現在 職員数

常勤職員 24 名

非常勤職員 46 名